

# 新型コロナワクチンを接種される方へ

作成：九重町保健センター

## 1 新型コロナウイルス感染症とワクチンの効果

新型コロナウイルス感染症は新型コロナウイルスに感染することによって起こります。ウイルスは少しずつ変異しています。

潜伏期間は概ね2～3日で感染経路は飛沫が中心ですが、閉鎖空間でのエアロゾル感染もあります。

高齢者や基礎疾患のある方は重症化しやすいことが知られています。

ワクチンを接種しても新型コロナウイルス感染症にかかる場合もありますが、多くの場合入院等の重症化を予防します。

## 2 新型コロナワクチン予防接種を受けることができない人

- ①明らかに発熱している人
- ②重い急性疾患にかかっている人
- ③新型コロナワクチンの成分に対しアナフィラキシー（※）を起こしたことが明らかな人

（※）アナフィラキシーとは、通常接種後30分以内に起こる重いアレルギー反応のことです。症状は発汗、顔が急に腫れる、全身のひどいじんましん、吐き気、嘔吐、声が出にくい、息苦しい、血圧低下、意識がもうろうとするなどです。

- ④その他医師に不適當な状態と判断された人

## 3 予防接種を受けるにあたり注意が必要な人

下記に該当すると思われる場合は必ず接種前の診察時に医師に伝えてください。

- ①抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- ②過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ③心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- ④過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギー症状が出た人
- ⑤過去にけいれんを起こしたことがある人
- ⑥新型コロナワクチンの成分に対してアレルギーが起こるおそれがある人

## 4 接種後の副反応

接種した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等が現れることがあります。

重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーが現れることもあります。

また、新しい種類のワクチンのため、これまで明らかになっていない症状がでる可能性があります。

気になる症状が出た場合は接種医やかかりつけ医にご相談ください。

頻度としてはごく稀ですが、ワクチン接種後に心筋炎や心膜炎を疑う事例の報告があります。接種後数日以内に胸の痛み、動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れたら速やかに医療機関を受診してください。

## 5 接種後の注意点

接種後24時間は上記の副反応の出現に注意してください。特に、接種直後30分以内は体調の変化等に注意してください。

（接種後の状態観察のための待機は接種施設の指示に従ってください）

接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。

通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動や過度の飲酒は控えてください。

## 6 インフルエンザワクチンとの同時接種について

インフルエンザワクチンとの同時接種は、医師が特に必要と認めた場合に行うことができます。